

園名	もりのおがわ保育園
日時	2025年12月26日
実践者	森岡 萌
対象年齢人数	1歳児 17名

テーマ 光と影

テーマを設定する

- ・光と影を体験しながら楽しむ。

環境をデザインする

○準備物

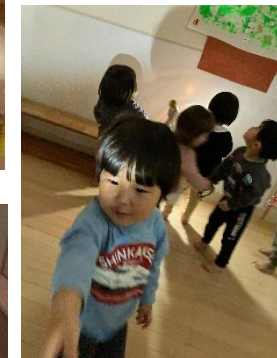
- ・手作りクリスマスツリー（絵の具）、懐中電灯、ブラックライト

探求活動を実践する

- ・子どもの活動

部屋を暗くした状態で保育士が“くらいくらい”の絵本を読み、「電気をつけて」のセリフに合わせて子どもたちと一緒に付けるフリをしながら懐中電灯で光を灯すと「うわー」、「ついた」など、より一層イメージが膨らむ様な声が聞こえてきた。持っていた懐中電灯にも興味を持つ姿が見られ、子どもたちに配ると真っ暗な部屋が明るくなると声を出して喜び子、自分の光はどこを探したり追いかける子。懐中電灯事態に興味を持ち、眩しい明かりをしばらく眺めていたり各々の遊び方で楽しんでた。最後には、ブラックライトでクリスマスツリーをかざすと緑に浮かび上がる色に驚く子どもも見られた。

プログラム 活動報告書



振り返り・気づき

振り返り

導入として懐中電灯を使ったため、子どもたちが興味を持つきっかけに繋がっていた。懐中電灯を持ちたい子もいたが、光を不思議に感じる様な姿が見られ、動きを目で追ったり、手で触ろうとするなどそれぞれの楽しみ方が見られた。

反省・次回への課題

子どもたちも楽しかったが、保育者も楽しくなり、子どもの声や気づきをゆっくり聞いてあげられていなかったため、次回行なう際には、保育者が先に話したり、気づきを伝えるのではなく、子ども目線で寄り添いながら行なっていく。また、電池の用意が間に合わず、明かりが付かない懐中電灯もあった。